



# 山形県感染症発生動向調査

平成29年第52週(12月25日～12月31日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)  
 TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486  
 URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>  
 2018年1月5日 発行

## <定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※◎:警報レベル

○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第51週	第51週	第52週	増減	第51週	第52週	増減	第51週	第52週	増減	第51週	第52週	増減	第51週	第52週	増減	
<b>インフルエンザ定点</b> (定点医療機関数)		(45)			(18)			(5)			(10)			(12)			
インフルエンザ	63774 12.87	132 2.75	268 5.96	▲	79 3.95	133 7.39	▲	4 0.80	11 2.20	▲	22 2.20	70 7.00	△	27 2.08	54 4.50	△	12177
<b>小児科定点</b> (定点医療機関数)		(28)			(11)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	2316 0.73	25 0.83	21 0.75	▼	11 0.85	6 0.55	▼	2 0.67		▼	12 2.00	14 2.33	▲		1 0.13	△	1858
咽頭結膜熱	2245 0.71	70 2.33	38 1.36	▽	30 ◎2.31	10 0.91	▽	2 0.67	2 0.67		33 ◎5.50	23 ◎3.83	▽	5 0.63	3 0.38	▼	1412
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9412 2.97	199 6.63	175 6.25	▼	94 ◎7.23	66 ◎6.00	▼	15 5.00	17 5.67	△	52 ◎8.67	59 ◎9.83	△	38 4.75	33 4.13	▽	7353
感染性胃腸炎	26566 8.39	238 7.93	138 4.93	▼	120 9.23	59 5.36	▼	16 5.33	9 3.00	▽	83 13.83	43 7.17	▼	19 2.38	27 3.38	△	7631
水痘	1650 0.52	24 0.80	8 0.29	▼	21 1.62	3 0.27	▽	1 0.33	3 1.00	△	1 0.17	1 0.17		1 0.13	1 0.13		775
手足口病	1941 0.61	42 1.40	22 0.79	▼	14 1.08	12 1.09	▲	2 0.67		▼	25 ◎4.17	8 1.33	▼	1 0.13	2 0.25	△	3861
伝染性紅斑	251 0.08	7 0.23	6 0.21	▽	1 0.08	3 0.27	▲				5 0.83	2 0.33	▽	1 0.13	1 0.13		703
突発性発しん	1143 0.36	16 0.53	17 0.61	▲	2 0.15	2 0.18	▲	1 0.33	1 0.33		6 1.00	8 1.33	△	7 0.88	6 0.75	▽	949
百日咳	30 0.01																25
ヘルパンギーナ	245 0.08	5 0.17	1 0.04	▽	5 0.38		▽								1 0.13	△	1280
流行性耳下腺炎	898 0.28	6 0.20	4 0.14	▽				1 0.33		▽	1 0.17		▽	4 0.50	4 0.50		615
<b>眼科定点</b> (定点医療機関数)		(7)			(4)			(1)			(1)			(1)			
急性出血性結膜炎	11 0.02																
流行性角結膜炎	580 0.83	5 0.63	1 0.14	▼	2 0.50	1 0.25	▼	2 2.00		▽	1 1.00		▽				224
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	10 0.02																86
クラミジア肺炎	7 0.01																
マイコプラズマ肺炎	173 0.36	10 1.00		▼	8 2.00		▼							2 0.67		▼	272
細菌性髄膜炎	4 0.01																5
無菌性髄膜炎	19 0.04		1 0.10	△											1 0.33	△	10

## <全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	2		1		
	無症状病原体保有者		1			
レジオネラ症	患者	1				

## <通信欄>

※第52週は、定点医療機関の休診に伴い、全体的に報告数が少なくなっています。

また、定点医療機関数に変更になっています。(インフルエンザ定点:48→45、小児科定点:30→28、眼科定点:8→7)

※トピックスで、インフルエンザについて掲載しています。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ	1	5	13	11	16	18	19	19	29	17	18	48	6	8	
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
	9	12	8	5	3	3									268
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	3	7	7	2	2										21
咽頭結膜熱		3	10	8	3	10	1	2		1					38
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	10	7	24	22	27	23	17	10	8	18	2	6	175
感染性胃腸炎	1	11	22	25	14	17	11	11	6	6	6	5	3		138
水痘		1	1		1				1	3		1			8
手足口病		1	6	9	2		3	1							22
伝染性紅斑					1		2	1		1		1			6
突発性発しん		8	8	1											17
百日咳															
ヘルパンギーナ					1										1
流行性耳下腺炎					2		1	1							4

< 平成29年11月 月報 >

2017年12月27日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～11月
	10月	11月	10月	11月	10月	11月	10月	11月	10月	11月	
<b>STD定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数	26	12	15	6	2	4	5	2	4	202
	定点当り	2.60	1.20	3.75	1.50	2.00	4.00	2.50	1.00	1.33	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	7	5	3		1	1	3	3	1	68
	定点当り	0.70	0.50	0.75		1.00	1.00	1.50	1.50	0.33	
尖圭コンジローマ	報告数	3	2	1						2	21
	定点当り	0.30	0.20	0.25						0.67	
淋菌感染症	報告数		3		1					2	34
	定点当り		0.30		0.25					0.67	
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	7	6			1	2			6	72
	定点当り	0.70	0.60			1.00	2.00			2.00	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	27	20	16	3	2		3	3	6	239
	定点当り	2.70	2.00	4.00	0.75	2.00		1.50	1.50	2.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数		1		1						3
	定点当り		0.10		0.25						

< トピックス >

【インフルエンザ情報】

第52週の県平均のインフルエンザの定点当たり報告数は5.96人であり、9週連続の増加となりました。

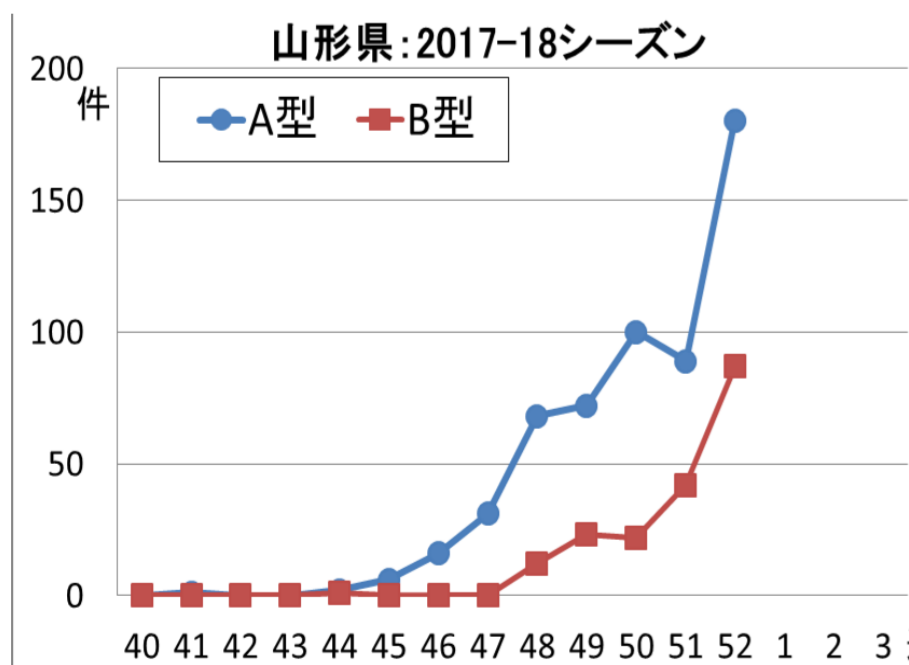
・インフルエンザ

警報開始基準値：30人 警報終息基準値：10人 注意報基準値：10人

・第52週 定点当たり報告数 (山形県：6.0人)

村山地区 7.4人、最上地区 2.2人、置賜地区 7.0人、庄内地区 4.5人

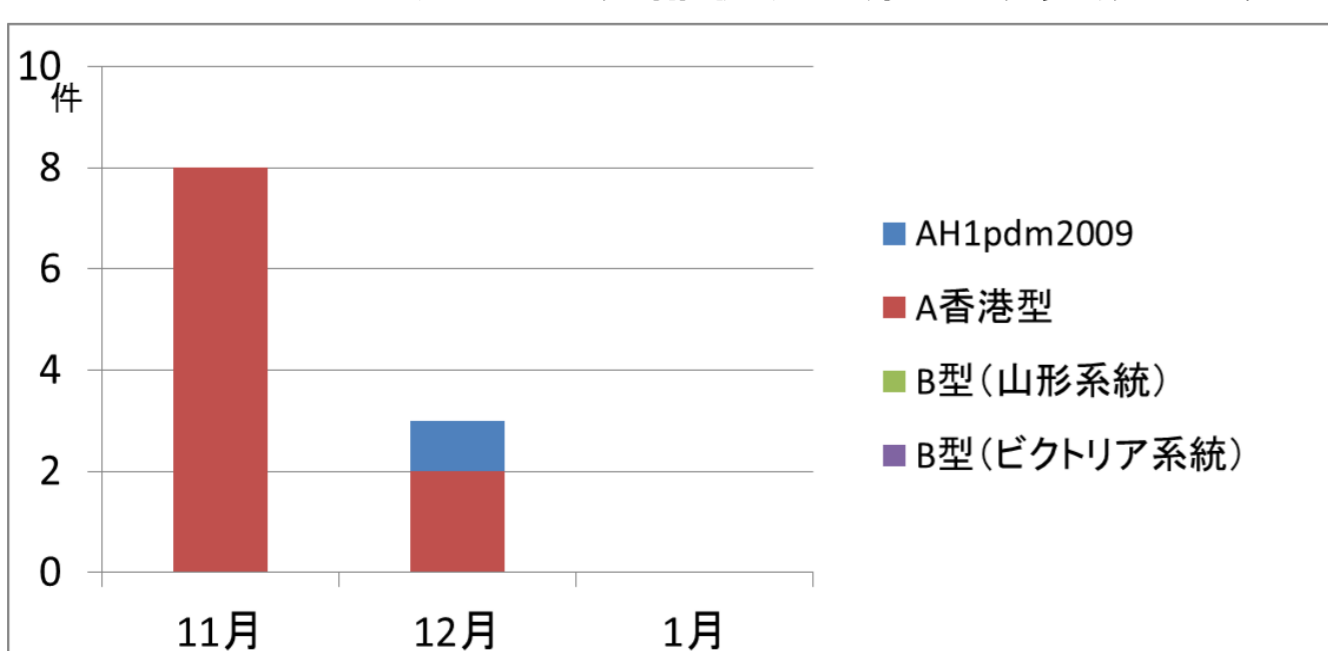
1 迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数(第52週)



	A型	B型
村山	74	58
最上	5	6
置賜	60	10
庄内	41	13
計	180	87

※型別不明：1件

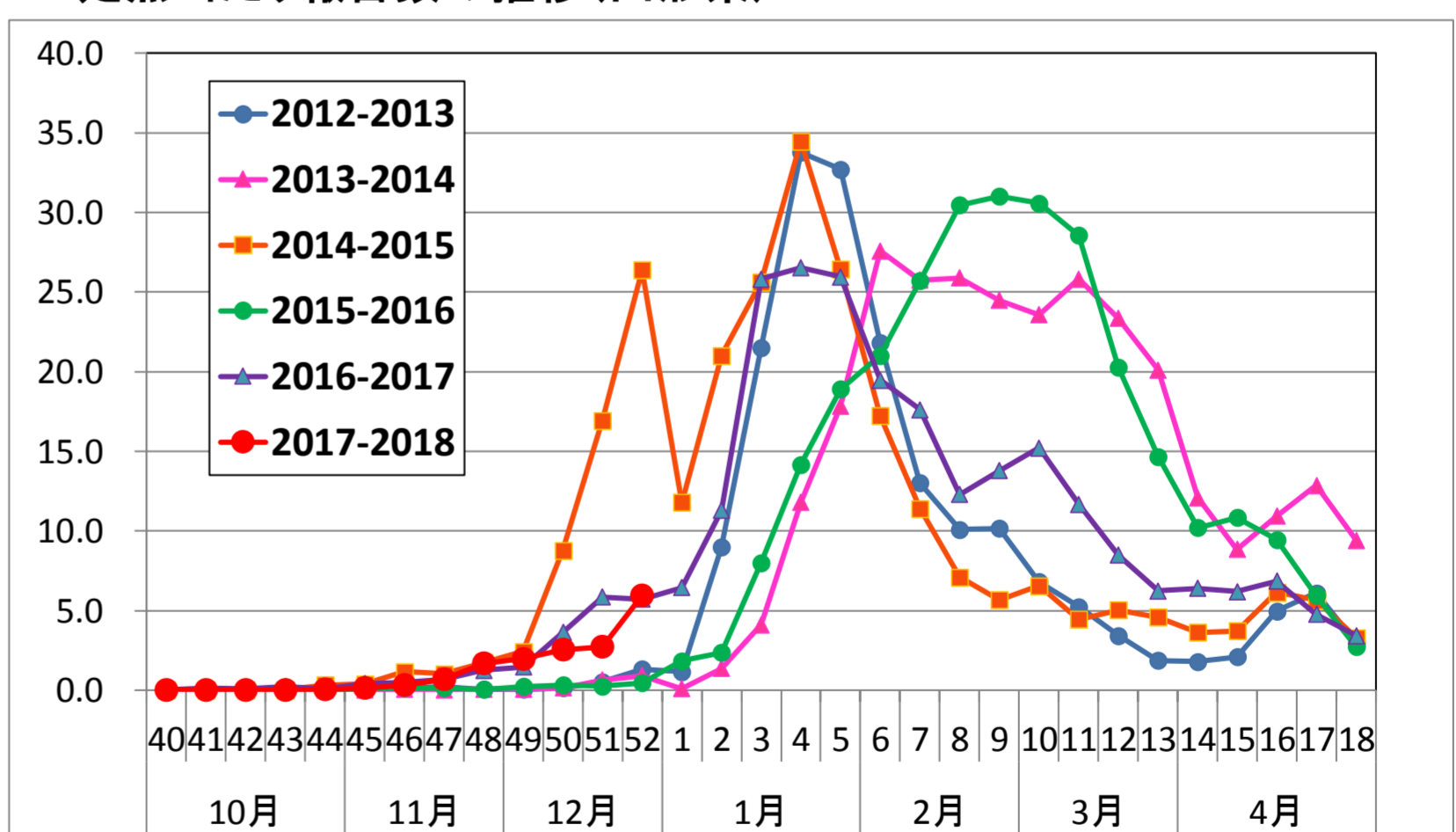
2 インフルエンザウイルス分離状況 (衛生研究所 12月27日現在)



3 集団発生情報(山形県健康福祉企画課まとめ 第52週)

集団発生の報告なし

4 定点当たり報告数の推移(山形県)



インフルエンザは感染力が強く、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が拡大します。こまめな手洗いと咳エチケットで「かからない」、「うつさない」を心がけましょう。

かかったなと思ったら、症状が軽くても無理をして出勤したり登校したりすることは禁物です。早めに医療機関を受診し、発熱後5日を経過し、かつ解熱後2日間(幼児は3日間)は自宅で静養しましょう。

「手洗い」、「マスク着用」、「咳エチケット」でインフルエンザ感染予防！ かかったなと思ったら、早めに医療機関を受診しましょう。

